

# 桜船会 だより

三菱電機大船地区定年退職者の会

第 46 号

発行日 2021.5.21

発行者 桜船会

発行責任者 木村允紀



▲ みなもの桜

提供 布施 明氏（会員）

近況報告：ZEB 関連技術実証棟「SUSTIE」竣工  
近況報告：ID 研と活動の広がり  
いきいきライフ：現役時代の回顧とコロナ禍での現在  
いきいきライフ：色鉛筆画と佐渡  
いきいきライフ：退職後も照明学会活動  
震災報告：東北大震災から 10 年  
表紙写真：みなもの桜と鶴岡八幡宮  
行事報告：行事・同好会報告  
事務局：会員動向・編集後記

情報技術総合研究所  
統合デザイン研究所  
桜井貫智  
渡部勁二  
明道 成  
菅原作雄  
布施 明  
富山勝己  
事務局・編集班

ZEB 関連技術の実証棟「SUSTIE（サスティエ）」が 10 月に竣工しました。「持続可能な開発目標（SDGs）」の達成に向けた活動の一環として、今後の需要拡大が見込まれる ZEB に対応する省エネ技術の開発と実証実験を加速し、省エネ性に優れた快適な居住空間の実現に貢献します。



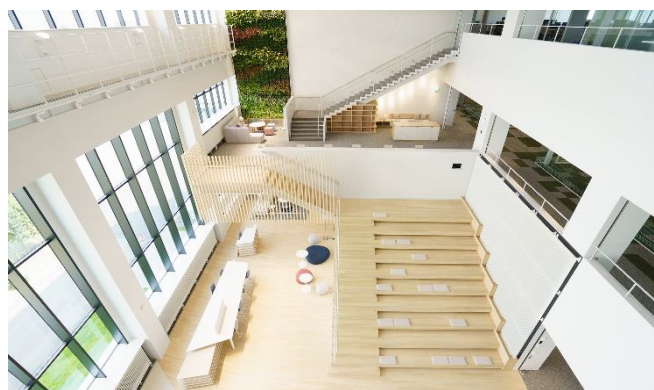
さて ZEB（net Zero Energy Building）とはビルの快適な室内環境を保ちながら、高断熱化・日射遮へい・自然エネルギー利用・高効率設備などによる省エネと、太陽光発電などによる創エネにより、年間で消費する一次エネルギー消費量がゼロ、あるいは概ねゼロとなる建築物をいいます。

SUSTIE は地上 4 階建、延床面積 約 6,460m<sup>2</sup>に及ぶ中規模ビルですが、建物上に設置した PV（太陽光発電）の年間発電量が年間のビルの一次消費電力（空調、照明、換気、給湯、エレベーター）を上回るよう設計されています。

一般に ZEB を達成するためには、低層の建物として PV の面積を稼ぐ、もしくは建物の横に大面積の PV を設置することでも達成は可能ですが、都市部における建築物としての最適解とは考えられません。SUSTIE は 4 階建て以上、エレベーターも設置、またエネルギーを消費する食堂機能も持たせた上での ZEB 達成を目的としました。そのためにグランマルチ、ロスナイ、LED 照明 MILIE をはじめとする当社の高性能な設備機器を導入。直流配電システム D-SMiree も設置しました。春・秋の中間期は南からの風を積極的に取り入れて自然換気も行います。照明や空調は在室人数を把握して細かい調整を行う等の工夫により、基準となる計算上の消費エネルギーに対して 62.5%の省エネを達成しました。また屋上

と各階の底上に設置した約 1200 枚の PV により、基準ビルの 43.7%分を発電。合計すると基準ビルで必要なエネルギーを 106%削減することになります。これは ZEB の種類の中では最高の『ZEB』となり、また非住宅建築物の省エネルギー性能を評価及び表示することを定めた「BELS 認証制度」において最高ランクの 5 スターを獲得しました。

省エネが出来ても、中で働く人が不快ではいけません。SUSTIE は健康性・快適性にも配慮した設計を行っています。開放感のある吹き抜け空間や階段では様々な人との出会いや運動を促します。居室は階によって集中・リラックス・対話などのテーマに沿ったレイアウトとなっており、その時の業務内容によって自由に席を移動できる ABW(Activity Based Working)を採用。1F の食堂では当地区の従業員全員に対し、カロリーや栄養に配慮した健康食を提供します。これらにより、建物のオフィス用途部分について、利用者の健康性、快適性の維持・増進を支援する建物の仕様、性能、取り組みを評価する CASBEE ウェルネスオフィス認証制度において、最高ランクの 5 スターを獲得しました。6,000m<sup>2</sup>を越える中規模ビルにおいて省エネと健康性・快適性の二つの認証制度で最高ランクを獲得したのは国内初です。



現在 SUSTIE には情報総研のスタッフ部門と研究部の一部が入居、9 つある実証室で実際に執務を行いながら、様々な条件を変えて実証を行っています。ここで生まれる様々な技術を素早く実証に適用し、事業化を加速していきます。

またビル本、リ本をはじめとする事本が招待する社外来客を受け入れる説明員も配置、積極的に当社技術アピールを進めていきます。

デザインとはデジタル大辞泉によれば「建築・工業製品・服飾・商業美術などの分野で実用面などを考慮して造形作品を意匠すること」と最初にかかれていいます。1988年にデザインセンターからデザイン研究所となったID研も、造形の意匠から、インターフェースデザインやコンセプトデザインなど徐々に対応領域を拡大しつつ当社に貢献してきました。

昨今、経産省等の政府機関でもデザイン経営やデザイン思考など、企業の経営にデザインが重要と言われ、世の中で受け取られるデザインの意味も格段に広がっています。また、市場、環境、技術、価値観などの変化も激しく、不確実な未来に向けて当社でもデザイン組織の発想力、クリエイティブ力への期待が高まっています。

そのような環境下で、今までのデザインに加え「モノ+コト」に対する新たな価値創出に向けてID研はプロダクト・UX・UI、建築士、エンジニアリング、MBAホルダー等の多様なスキルを持つメンバーが増えています。そして、当社の強みを組み合わせながら多様なID研のスキルを統合し、次の100年に向け新たな未来の価値創出組織となるべく、2021年4月1日付けで「統合デザイン研究所」と組織名が変更されました。名称変更の狙い通りの活動が出来るよう、所員一丸となって邁進したいと思いますので、今後ともよろしくお祈りします。

今回は、ID研発の新しい価値の2つの事例、「しゃべり描きUI」と「てらすガイド」を紹介します。両事例ともID研所員が社会課題解決を起点に発案し、関係者のみなさまのお力添えをいただき何とか社会実装できたものです。また両案とも新型コロナ対策の社会貢献対応として広報されています。なお、ID研のWebサイトもリニューアルされ、所員の成果と想いが伝わる内容になっていますので、是非ごらんください。

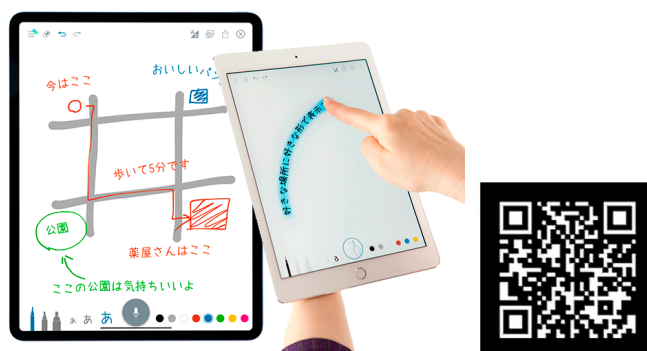
<http://www.mitsubishielectric.co.jp/me/design/>

### 【しゃべり描き UI】

しゃべり描きUIは、タブレット端末向けのユーザーインターフェースで、しゃべった言葉を指でなぞった軌跡に沿って文字を表示するアプリです。

この開発は、発案者が耳の不自由なインターン生との触れ合いの中から、紙での筆談でしか会話の手が

なく、伝えたい事をうまく伝えられないもどかしい想いが起点となっています。いくつもの壁にあたりながらも諦めずに頑張り、他社連携により社会実装まで辿り着きました。聴覚障がい者とのコミュニケーションという課題解決も評価され、国内外で多数の賞を受賞できた素晴らしい活動成果です。



### 【てらすガイド】

てらすガイドは、施設内の床面に矢印や図形を光のアニメーションを表示して、行き先案内や注意喚起をするものです。表示する内容は、設置場所や目的によって変えることができ、設置後の表示内容変更も簡単です。現在は、本社の入退場ゲートにも設置されており、ゲート先のエレベーターで人が密にならないよう注意ガイダンスを表示しています。

この開発は、当初は自動車向けに発案されました。自動車から周囲に光のガイダンスを表示し、バックやドアの開き等の車の動きを事前に歩行者や他の車に事前に伝え、交通事故を減らし安全・安心な社会を実現したいという想いで始まりました。そのコンセプトをビル等の施設向けに広げ、事業化に至ったものです。現在は、より世界の多くの人々が光るサインのメリットを享受できるように国際標準化活動にも尽力している活動です。



皆様こんにちは。編集班で会報誌を担当していた頃には大変お世話になりありがとうございました。

この度「桜船会だより」への寄稿を依頼され、考えてみましたが、この1年間は新型コロナウイルス禍のため外出自粛の生活が続き、特別なイベントもありませんでしたので、自分の現役時代を振り返りながら、コロナ禍での今の生活の一端を紹介させていただきます。

### ■会社生活を振り返って

私は商研に入社して以降、中研、鎌電、計電、コ電、情電研、P研、情報総研と異動が多く、更に菱電エンジニアリングとつくば市にあるフェムト秒テクノロジー研究機構への出向を経験しました。また退職後は本生技に再雇用で約3年間勤務しましたが、この間幸運にも多くの社内各場所を訪問することができ、見聞を広めることができました。

現役時代の業務は主に新製品開発を担当し、小型テープレコーダを始め家庭用VTR、マークシートリーダー、光学文字読み取り装置、搭乗券プリンタ、定期券発行機、片面/両面フレキシブルディスク装置、8インチ/5インチ固定磁気ディスク装置等の機構部を開発しました。新製品開発を担当して最も難しかった点は、量産に向けた試作検証段階での品質の作り込みと設計マージンの確保 VS コストの作り込みです。これらの点をクリアするために何度も厳しい修羅場とも言える場面を体験することになりました。

また情報総研時代に担当したVA事務局活動では、開発上流段階で実務と一体化したゼロロックVAの確立に努めると同時に、VE協会活動を通じて多くの他社の方々と交流して、違う文化や考え方を学びました。

フェムト秒テクノロジー研究機構への出向では、組織を閉じるための清算業務の計画作りと実行の実務を担当し、前例のない業務を各種の専門家の協力を得ながら遂行し完了させるという貴重な体験もしました。

退職後の第二の人生に向けては、そこに軟着陸するための準備不足を自認していましたので、まず何かを始めようと思い退職後直ちにテニスと卓球を始め現在に至っています。唯一在職中から趣味として

続けていた野菜作りは今も継続中です。

次に現在の日常生活の一端を紹介させていただきます。



### ■現在の日常生活

コロナ禍が続くなか、現在は毎日感染の恐怖に慄きながら細心の注意を払い、万一感染した場合それは終わりを意味する覚悟で生活しているのが実態です。とにかく有効なワクチンの接種が受けられるまでは絶対に感染しないというのが日々最大の命題です。幸い私が住む寒川町は自然が豊かで運動不足を補うために散歩をする環境には恵まれていますので、できるだけ毎日の散歩は続けるようにしています。

#### ・卓球について

卓球は同じ分譲地の中の同好会に参加して現在週2回、自治会館内で冷暖房付きで快適に行っています。メンバーには高齢の方が多いが若い時に本格的に習った人はやはり上手でなかなか勝てない。

悲しいのはコロナ禍で緊急事態宣言が発出される度に活動が自粛になる事で、運動と仲間とのコミュニケーションの場が失われてしまう事が寂しい。

#### ・テニスについて

テニスは町のテニス教室に参加したのがきっかけで、週1回テニス仲間との付き合いが続いています。現在4人のメンバーはプレースタイルがダブルスなので1人も抜けられないという危機感を持ってプレーを楽しんでいます。

#### ・野菜作りについて

野菜作りは20数年続けていますが、今は四季を通じて空いた時間は畑で過ごすことが多く、富士山を見ながら農作業をしていると不思議と悩み事やストレスが土に吸収されていく感覚があり、精神的な安定剤の役割も果たしています。土を耕し、種を蒔き、苗を育てて、収穫する一連の作業が楽しく、充実感があり、私のルーツはやはり農耕民族らしい。足腰が動くうちはできる限り長く続けたいと考えています。

退職後、近隣の方々と交流して思うのは三菱電機に勤務して定年まで勤め上げた結果、定年後も毎日を不自由ない生活ができていることのありがたさを実感し、日々生き生きと過ごしています。

2018年10月に故郷・佐渡の家屋・土地を処分した。祖父母、父母および私達と三世代続いた名家と言われた。本当は父母のそれぞれの実家が名家であり、我が家は分家であった。生まれた家が無くなってから、にわかに懐かしさを覚えることになった。それまでは田舎付き合いに辟易し、早く離れたと思っていた。

さて絵の話である。色鉛筆で絵を描き始めてから18年経過した。会社を退職して、さてたっぷりの時間をどう使うか、地域とのつながりはなし、時間を持って余した。ちょうど公民館事業で色鉛筆画講座が開かれ、応募した。理系で通して来たこれまでの人生に、ひよっとしたら文系の素養があったかもしれないと。そのとき安野光雅さんの『絵のある人生』を見つけ、感銘を受けた。その結びに「・・・絵を描くことは、描かないで過ごした人生に比べて、どんなに充実しているか知れないのだから・・・」と述べていた。

さて絵の勉強をスタートして時間ばかり経過、やはり理系の考え方が抜けきれず、指導の先生が「見た通りに描かない」「一度頭の中に入れて、発想を膨らませよ」「赤いリンゴをみて、青く描いてもいいよ」などなど言われ、やはり芸術は難しいと一人合点した。しかし変化が現れ、散歩にはカメラを持ち歩き、道端の花を見れば、花びら、葉っぱなどを観察し、楽しんだ。また美術館に行くことが増え、作品の神髄は何かを想像し、一緒に学ぶサークルの人たちと語ることもあった。

佐渡の話に戻ろう。故郷を離れてから風景、郷土芸能など懐かしく、絵に描くことが多くなった。ここではその3点を紹介したい。

1番目の作品は『トキ旅立ち』である。佐渡のトキ保護センターから放鳥が平成20年に始まった。今や400羽近くが佐渡の山に生息している。しかしながらトキが飛んでいる姿を見ることは少ない。間近に見るにはやはり「トキの森公園」のふれあいプラザの窓から見るぐらいである。従って絵のように2羽が揃って空を飛ぶ姿を見かけるのは奇跡に近い。



またトキのいわゆる「トキ色」はオレンジがかった薄いピンク色であるが、この絵では描ききれていない。

2作目は『故郷の小学校』である。私が通ったころは古色蒼然、今にも崩れそうな印象の木造校舎であったが、10年ほど前に建て替えられた。同じように木造であるが、まことにモダンな設計で、小高い丘の上であり、眼前に海を見渡せ、4月には桜で囲まれる。しかし村（現在は町村合併で佐渡全土が佐渡市となった）の小学生は減少するばかり、いつ廃校になるか心配であるが、長く保存して欲しい。絵では想い出を残すために、小学校を中心に、街並み、漁港の風景を忠実に描いた。



3作目は『鬼太鼓』である。佐渡の芸能でよく知られているのは「佐渡おけさ」であるが、村々の春や秋の祭りには鬼太鼓、大獅子、小獅子などが登場し、祭りを盛り上げる。これらは村の神社の神事の一環であり、家々の門口をまわり、豊作と家内安全を祈願する。赤鬼、青鬼、黒鬼が勇壮な太鼓を響かせ、家々を回ってくる。幼い頃は恐ろしくて逃げ回った。休憩のとき、お面を外すと童顔の青年が現れ、ほっとしたものである。最近佐渡のホテルでは、夕食後のサービスに佐渡おけさに加えて鬼太鼓を見せてくれるところもある。

さて絵を習い出したが、歩みは遅々として進まない。しかしながら絵を習ってよかった点は「大勢でも一人でも楽しむことができる」である。雨の日、雪の日であれ、紙を広げ、頭を柔軟に、思いを飛ばして、絵の世界に浸ることができる。まさにいきいきライフ、これからも続けていきたい。



1972年に旧船電に入社し、最初の職務として担当させていただいたのが照明設計でした。

### ■照明設計における光束法について

光束法は、照明する部屋の寸法、天井や壁などの反射率、光源の光束（光の量）、照明器具台数などから作業面に入射する光束を求め、そこから照度（明るさ）を計算するものです。光源から出た光のうち作業面に入る光の割合を**照明率**、照明施設の使用時間と共に光源の光束の劣化、照明器具の反射板や壁面の反射率の低下などで、作業面に入射する光束低下を補正する割合を**保守率**と称して照明設計で使用する重要な要素です。これらの2つの要素に対する照明学会での標準化・規格化への取り組みの活動は退職後も続いており、その内容について紹介します。

### ■照明学会での活動について

2010年～2011年度に照明学会で総務理事を務めさせていただきました。総務理事は、照明学会の委員会への出席職務があり、その中で照明に関する標準・規格事業の委員会への参画・活動したことが退職後の照明学会活動につながっています。

総務理事の時、光源のLED化が急速に進み始め、照明学会及び工業会で各規格のLED対応化活動が進められました。照明器具工業会（2013年4月から電球工業会と合併し日本照明工業会になりました）からLED対応の保守率と照明率のJIS（日本工業規格）制定の依頼を受けました。

保守率は国際基準として国際照明委員会（CIE）報告書（屋内照明 CIE97、屋外照明 CIE154）が発行され、照明学会技術指針が対応基準でしたが、光源・照明器具がLEDに対応していませんでした。

照明率はCIE報告書（基礎編 CIE40、応用編 CIE52）及び北米照明学会（IESNA）から帯域空間法での計算方法が規定されていましたが、両者の計算方法の統一化の動きはなく、国内では照明器具メーカーがどちらかの計算方法を適宜使用していました。またLED対応化の報告もされていませんでした。

保守率に対してはLED光源の光束維持率・残存率評価方法の規格化がされていなかったため、JIS化は時期尚早と判断し、IESNAから提示されていたLED光源の光束維持特性の測定・推定方法の技術基準 LM-80、TM-21 を引用して2013年に照明学会技術指針—LED対応増補版—が発行されました。

照明率に対してはCIEとIESNAの計算方法の両方を選択可能とし、LED照明器具も含めた照明率表計算方法 JIS C 8030 が2014年に発行されました。

### ■退職後の照明学会活動について

退職は2013年3月でしたが、退職後も照明学会の委員会への所属継続を依頼され、特にLED対応の国際規格化の動きに注目して、規格の見直し維持・管理を継続して行ってきました。



▲2019年5月 河口湖にて

保守率についてはCIE技術報告をLED対応のISO（国際標準化機構）規格化するため、2017年にISO/TC274/JWG3で、第1段階としての保守率決定要因のLED光源光束維持率、残存率を取入れたISO/TS技術仕様書を制定する活動を開始しました。同技術仕様書に照明学会技術指針LED対応増補版の内容を反映させるため、JWG3に参画し、照明学会にISO対応検討委員会を立上げて対応した結果、ISO/CIE TS 22012 が2019年に発行されました。

第2段階としてのLED照明器具の光学特性維持率は、2022年期限で現在もCIEで検討を進めています。保守率がISO規格化されれば、国際規格整合のため、JIS化されることが想定されます。

照明率は、LED照明器具に取り入れられた配光に対応するCIE規格化が検討されてきましたが、原案の段階で中止されました。対応するJISは5年毎の見直し時に国際規格化を反映すべくCIE第3部会国内小委員会に参加しています。

### ■保守率・照明率規格化活動の思い出

保守率・照明率のLED対応規格化は、当時照明器具工業会の泥専務理事（当会会員）から総務理事の筆者に依頼があったことから、照明学会としての活動に結び付けることができました。

泥さんとは旧船電配属の入社同期で、独身寮の同じ部屋でした。三菱電機の同期・同室の2人が照明器具工業会と照明学会の責任者として、規格化の対応を行うことができ、感無量の気持ちです。

私の出身地は宮城県の南三陸町。あの東北大震災から 3 月 11 日で 10 年、テレビ、新聞で、震災に関する情報が増えている。写真は、地元新聞社である河北新報 (2021 年 1 月 11 日) に掲載されたものである。南三陸町は宮城県北東部、三方を 300~500m の山 (北上山地) に囲まれ、東側が大きな入江になり、太平洋に面している。海岸は東側に向き「V」の字に開いている。北側が歌津地区、南側が戸倉地区、入江の平地は中心地の志津川地区、この地区の西側山間部が実家のある入谷地区である。写真は志津川地区の海側の北東部から撮影したもので、最も津波被害が大きかった中心地であり、震災前は住宅・商店、病院役場が密集していた。写真の左中央は八幡川であり、南三陸町に降った雨は、全てが南三陸町内で太平洋に注がれ、多くの短く、細い川がある。震災時は、これらの多くの川から逆流し、勢いを増し、住宅、店舗を粉砕し、建物の 4 階まで達した。

地震発生 2011 年 3 月 11 日午後 2 時 46 分

マグニチュード 9.0 震度 6 弱 (南三陸町)

被害状況 死者 831 名 (行方不明、関連死を含む)

犠牲者 震災前人口 2010 年 3 月 17,378 人  
震災後人口 2020 年 10 月 10,945 人  
人口減少率 37.1%

住宅被害 全壊 3,143 戸 半壊・一部破損 1,482 戸  
(罹災率 61%)

日本はどこでも地震があるが、特に岩手県、宮城県の海岸部は、リヤス式海岸であり、その海岸形状が津波を拡大している。筆者が小学 1 年の時 (昭和 35 年 5 月 24 日) チリ地震津波があった。南米チリの大地震で津波が発生し、22 時間後の早朝に津波が到着した。この津波によっても甚大な被害があり、町内の河川に防潮水門、海岸には数メートルの堤防が作られた。また町内の公的な建物には、この津波による浸水



津波被害を受けた南三陸町志津川地区の今  
(河北新報 HP より)

高さ 2m が表示してあるが、大震災では、この被災域を想定以上に超えており、「チリ地震津波の時はここまで来なかった」と避難行動を一瞬遅らせたものと思われる。このような状況で、何百年に一度の巨大な地震・大津波が町を襲った。ここでは筆者が調べて、地元の方々に聞いたことを示す。

■戸倉小学校の校長先生の出身は埼玉県。大津波時に校長先生が言った学校屋上への避難と地元の先生が主張する「津波の時は高台へ逃げる」で迷ったという。結果として歩いて 10 分かかる高台へ逃げ、その高台が危なくなり、次の高台へ逃げて、全員助かった。

また大津波警報時、いち早く学校に来て責任を持つと言う母親に子供を引き渡した。この家族は震災後に車の中で発見された。

■「私は津波を見ていない」という戸倉地区で、海苔工場・海産物卸を営んでいた実姉。事業が成功し、津波が・・・という親戚の声に、基礎、土台をしっかりと作るからと家を新築した。震災後は立派な基礎と土台だけが残った。震災の時は 10 分で逃げる自分だけの「10 分ルール」で、社員全員を解雇し、安全な帰宅を指示した。そして、家族の高齢者を瓦が落下する家の前で待ち、車 2 台で逃げた。「私は津波を見ていない」とは、後ろを振り返っていない、立ち止まっていないということである。山奥の本家まで逃げ助かったが、津波のガレキは数十 m まで迫っていた。

■私の小学生の頃、道徳の時間は、担任の先生の津波話が多かった。津波は怖い。地震があったら、すぐ逃げなさいという教育だった。南三陸町は、避難訓練などの参加率は高く、また亡くなった子供は少ないと聞いた。「津波てんでんこ」は自分で自分の命を守れ、別々にすぐ逃げろという意味。姉の個人ルール「高台に逃げろ」は、教育をうけた私は理解できる。最も大事なものは、教育かもしれない。

南三陸町震災復興祈念公園は、大震災レベルの大津波へ対応した新しい町を目指してほぼ完成した。この市街地に住んでいた人は、山間部の高台に造られた住宅に移り住んでいる。津波の高さなどは公園の築山で体験できる。ハードとして残すことは、津波の恐怖を後世の住民に有効に伝える。日本は地震が多く、海岸は常に津波の恐怖がある。海の近くで、地震があったら、最低でも 4 階以上の建物に避難するのが、命を守る最も有効な行動である。この文が震災の恐怖を伝え、心に残り、震災の風化を防ぐことに繋がれば幸いである。時間があれば、美味しい海の幸がたくさんある南三陸町を訪れ、そして東北大震災を感じていただきたいと思っている。(願)

表紙の写真は数年前の3月下旬に鶴岡八幡宮の神苑ぼたん庭園で春ぼたんが開園されていたので入園した折に撮ったものです。源氏池の岸辺に桜とぼたんが競い合って咲き、青空の下、水面に映る桜の姿を捉えたものです。

### ■鶴岡八幡宮のご縁と神苑ぼたん庭園

この神苑ぼたん庭園は、昭和55年(1980年)に鶴岡八幡宮創建800年を記念して造園された回遊式庭園で、ぼたん園は冬ぼたんと春ぼたんの年2回開園されています。

右の写真は「八千代椿」という品種でぼたんの色・姿とも好みのものです。



鶴岡八幡宮とのご縁は、お宮参りに始まり、七五三のお参り、初詣の参拝、車の祈祷、実朝祭では妻が鎌倉華道会の一員として長年献花させていただいております。そして三十数年前から「御日供祭」(おにつきさい)の講員となり、本殿でのご祈祷に参列させていただいております。

鶴岡八幡宮では毎朝7時半頃から本殿の大神様に米・酒・野菜・果物などをお供えし、皇室の弥栄と国の繁栄を祈念致しております。



このお祭りを「御日供祭」と言い、お供えを神饌と称し、日々の神饌をご奉献いただく皆様の集まりを「御日供献撰講」と申します。

皆様の真心を大神様にお供えするとともに、家内安全、身体健全など「御日供祭」に併せてご希望のご祈願を致しております。献撰日は希望することができ、参列も頂けます。

そのご祈祷は神職の方々がお勤めになられていて、希望者は本殿拝殿に上がらせて頂き、一緒に玉串の奉納を行ないます。ご祈祷奉納後は直会の御神酒をいただき、諸願記載の御札と神饌を頂いて、お祭りは終わります。その後希望すれば神職と一緒に朝食をいただき、貴重なお話が伺えます。

最後に鶴岡八幡宮のお蔭で家族が無事過ごせていることは何よりのことと感謝しております。

### ■行事関連報告

5月の総会と懇親会、9月の秋のバス旅行「JAXA 筑波宇宙センター見学と筑波山神社参拝」、11月の懇親会、3月の春の行事は、実施に向けて準備を進めていましたが、コロナ禍が終息しないため、残念ながら全て中止とさせていただきます。

### ■同好会報告：大丸山から六国峠ハイキング

実施日：2020-10-21(水) 参加者：7名



人混みではマスクを着用し、久しぶりのハイキングを少人数で楽しみました。

港南台駅10時出発、横浜市で最も高い大丸山156mで昼食後、ののほな館を經由して六国峠ハイキング道を金沢八景駅へ下り、称名寺で解散しました。

### 事務局

### 会員動向 (2020.9.31~2021.4.10)

#### ■会員動向 (敬称略)

- ・会員数：199名
  - ・入会者：1名 吉田 英夫
  - ・退会者：7名 友森 正信 齊藤 淳  
挽地 啓介 水上 治雄 吉田 隆  
佐藤 菊男 森山 耿茅
  - ・物故会員：1名 山崎 英蔵
- 謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

#### ■編集後記

コロナ禍で緊急事態宣言が解除されても、何かと自粛が続きます。コロナが収まって皆様とお会いできることを楽しみにしています。それまではできる対策を全てして感染しないように気を付けましょう。

執筆者の掘り起こしに毎号苦勞しておりますので、会員の皆様からの寄稿お待ちしております。

#### ■桜船会 URL <http://www.ousenkai2013.com/>

編集責任者：皆川良司

編集委員：橋本栄次

印刷所：(株)さんこうどう

